

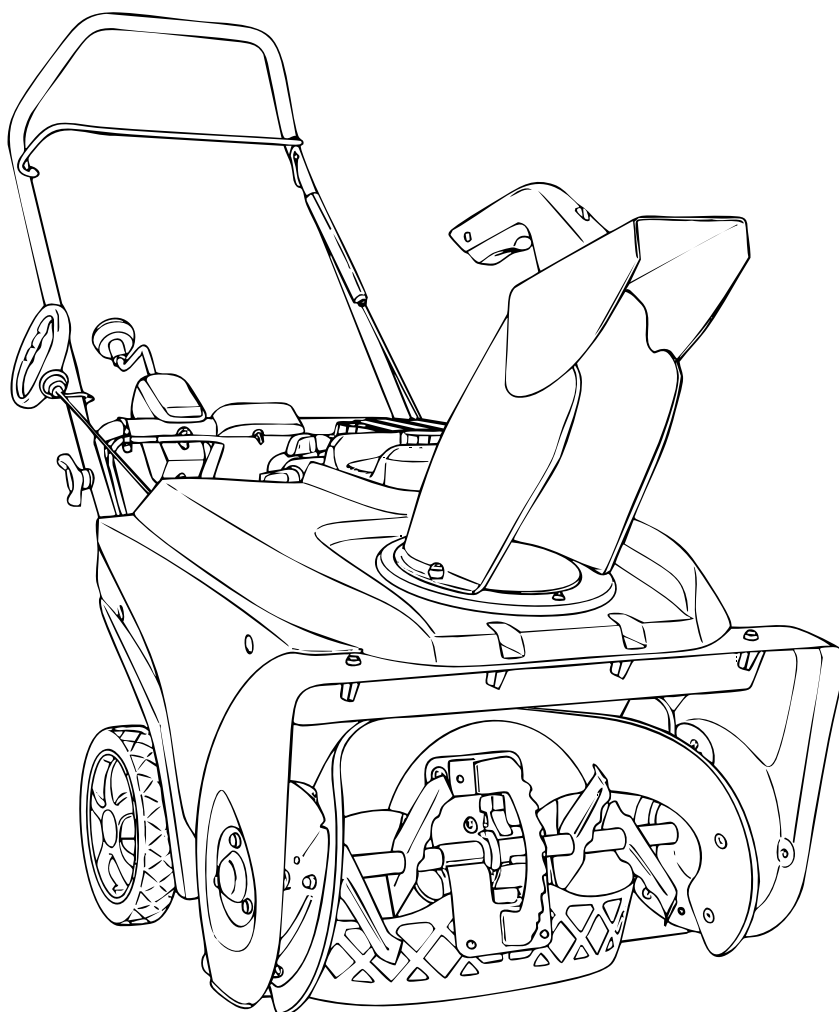
# **PLOW** プラウ除雪機

Outdoor Power since 1930

シングルステージ

7馬力/55cm幅

## SBP755



ご使用前に必ず  
取扱説明書をお読みください

発売元 株式会社ホンダワーク

# もくじ

1	安全にお使いいただくために	P. 2
1-1	はじめに	P. 2
1-2	危険／警告／注意マークについて	P. 2
1-3	必ずお守りください	P. 2
1-4	除雪機に関するシンボル表	P. 3
1-5	除雪機の安全に係る事項	P. 4
2	サービスと保証について	P. 8
3	表示ラベルとその取扱い	P. 8
4	各部の名称	P. 9
5	梱包部品一覧	P. 10
6	運転前の点検・調整	P. 11
6-1	エンジンオイルの点検	P. 11
6-2	燃料の点検	P. 12
6-3	除雪機の点検	P. 12
6-4	オーガクラッチのコントロールケーブル点検	P. 12
6-5	各部の固定ボルト・ナット・ネジの締め付け点検	P. 12
7	除雪機の使い方	P. 13
7-1	エンジン始動と停止	P. 13
7-2	除雪機の運転と操作	P. 15
7-3	雪が詰まったシューターの掃除	P. 16
8	メンテナンス	P. 17
8-1	メンテナンスのスケジュール	P. 17
8-2	エンジンオイルの交換	P. 18
8-3	オーガクラッチのコントロールケーブル調節	P. 19
8-4	マフラーやマフラーカバーの点検	P. 19
8-5	オーガおよびスクレーパーバーの点検	P. 20
8-6	スパークプラグの点検	P. 20
9	保管方法	P. 21
10	故障と思ったら（トラブルシューティング）	P. 22
11	保証内容について	P. 23
12	主要諸元	P. 24
	パーツリスト	P. 25
	保証書	P. 25

# 1. 安全にお使いいただくために

## 1-1 はじめに

この度は、プラウ除雪機シングルステージ SBP755 をご購入いただき、心より御礼申し上げます。




ご使用になる前に、本取扱説明書をすべてお読みいただき、内容をよく理解した上で、製品を正しくお使いください。

この取扱説明書は、いつでも参照できるようお手元に大切に保管してください。

## 1-2 危険 / 警告 / 注意マークについて

以下の警告表示と意味は、本製品に関連する危険のレベルを説明するためのものです。

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項に関して次のように表示しています。

	<b>危険</b>	・・・注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことになるものを示します。
	<b>警告</b>	・・・注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険性があるものを示します。
	<b>注意</b>	・・・注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示しています。
	<b>重要</b>	・・・注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れがあるものを示しています。
	<b>補足</b>	・・・その他、使用上役立つ補足説明を示します。

## 1-3 必ずお守りください

### 警告！

ここに記載された警告や指示を守らないと、感電、火災、重傷など、重大な事故につながるおそれがあります。

- **使用目的：**この除雪機は、積もった雪を、機械の動力で効率的に取り除くご家庭向けの機械です。
- **本書について：**本書では製品の正しい取り扱い方法や簡単なお手入れ方法について記載しています。また、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご了承ください。
- **使用について：**除雪機についてよくご存知の方であっても、この取扱説明書を必ずお読みいただいた上でご使用ください。
- **製品を譲られる場合：**次の使用者のために本書と一緒にお渡しください。
- **製品保証について：**本製品には、保証書が添付しています。詳細は、本書巻末の保証書をご覧ください。

### サービス（相談窓口）

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。その際、本機の型式やご購入日などをご連絡ください。疑問がある場合は、作動させたりせず、下記へお問い合わせください。

プラウカスタマーサポート  **025-530-6025**

## 1-4 除雪機に関するシンボル表

シンボル	意 味
	安全に関する注意事項 操作には十分注意し、すべての安全指示と警告に従ってください。
	切断の危険 回転する可動部には決して手や足を 入れてはいけません。
	巻き込まれる危険 回転する可動部には決して手や足を 入れてはいけません。
	切断の危険 回転するオーガに手を触れてはい けません。
	切断の危険 可動部品に触れないでください。
	火災の危険
	感電の危険
	高温面の危険
	安全な距離を保つ
	反発の危険 スタートロープハンドルの操作時は、 ハンドルの跳ね返りに注意してくだ さい。

シンボル	意 味
	取扱説明書を必ずお読みください 本製品を操作する前に、取扱説明書 をよく読み、指示に従ってください。
	メンテナンス前の注意 保守を実施する前に、電源を切り、 キーを抜いてください。
	切断の危険 回転するオーガに足を入れてはい けません。
	物が飛ぶ危険
	爆発の危険
	有毒煙の危険
	聴力保護 長時間使用する場合は聴力保護具 を着用してください。
	目の保護 保護メガネを着用してください。
	子供やペットを近づけない
	リサイクル情報 すべての梱包材、使用済みオイル、 及びバッテリーの廃棄は、お住まい の自治体の指示に従ってください。

## 1-5 除雪機の安全に係る事項

安全に作業を行うため、以下の基本的なルールを必ず守ってください。取扱説明書および機械に貼り付けられたラベルをよく読み、機械の潜在的な危険を理解してください。

### ⚠ 警 告



除雪機の取扱説明書に記載されたすべての指示を読み、理解し、従うようにしてください。本書に記載された安全指示に従わない場合、死亡または深刻な怪我に繋がる恐れがあります。感電、または怪我の危険があります。損傷がある充電器は修復されるまで絶対に使用しないでください。

- 除雪機のコントロールおよび適切な死王について十分に理解してください。
- 除雪機を使用する前に適切なトレーニングを受けるようにしてください。
- 除雪機の停止、運転する方法を理解してください。
- 除雪機を操作する人は、取扱説明書に記載された指示に常に従ってください。
- 安全および指示ラベルが汚れていたり、剥がれている場合は交換してください。
- 適切に訓練されていない限り、この除雪機について主要な修理を行わないでください。除雪機の不適切な整備は、危険な動作や損傷をおこし、および製品の保証対象外となります。

### ⚠ 危 険

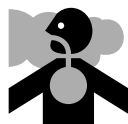


シューターには雪を飛ばすための回転オーガがあります。手を使ってシューターから雪を取り除いたり、詰まりを取ったりしてはいけません。指が回転オーガに挟まれる可能性があります。常に清掃ツールを使用します。これらの安全指示に従わない場合は、外傷性切断または重度の裂傷につながります。



- シューター内の回転オーガに触れることは、除雪機に関連する怪我の最も一般的な原因です。
- この除雪機は、手足を切断し、物を飛ばす場合があります。本取扱説明書に記載されたすべての安全指示を読み、従うようにします。従わない場合は死亡または人身事故に繋がる可能性があります。
- 除雪機の清掃、修理、または検査を行う場合、エンジンがオフの状態であり、スパークプラグのワイヤーが外されていて、すべての稼働部分が停止していることを確認します。
- 回転する部品の近く、または下に手や足を近づけないでください。
- 適切な保護具およびその他の安全器具を着用せずに除雪機を起動してはいけません。
- エンジンを起動させたまま除雪機から離れないでください。除雪機から離れる場合は、オーガおよび牽引コントロールを解除し、エンジンを止めてキーを外します。
- ゆったりとした衣類を着用して除雪機の前面およびオーガに近づかないでください。マフラー、手袋、衣類のひも、ゆったりとした衣類、およびズボンは回転する機器に巻き込まれる危険があります。作業前に長い髪はまとめて結び、宝飾品は取り外してください。
- 除雪機の凍結を防ぐために、除雪機を使用した後数分間は機器を起動したままにします。
- 除雪機の輸送や使用していないときは、必ず除雪機の電源を切ります。

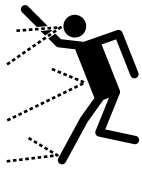
### ⚠ 危 険



エンジンは一酸化炭素という無臭・無色の有毒ガスを排気します。一酸化炭素の吸引は、嘔吐や気絶、あるいは死をもたらす危険があります。

- エンジンの始動と運転は屋外で行ってください。扉および窓が開いていてもエンジンの起動を閉鎖された場所で行わないでください。

## ⚠ 警 告

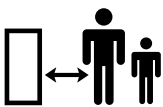
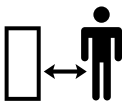


オーガにより物体が持ち上げられてシューターから飛び出す場合があります。近くにいる人に向けて雪を吐き出したり、除雪機の前に誰かが立ったりしてはなりません。これらの安全指示に従わない場合、死亡または深刻な怪我に繋がります。



- 操作中および調節／修理中は常に保護メガネまたはアイシールドを着用します。
- 常に雪を飛ばす方向に気をつけます。飛ばされる物体により近くの歩行者、ペットまたは所有物が傷つく可能性があります。
- 除雪機の操作中は周囲に注意を払います。砂利、ドアマット、新聞紙、玩具、雪の下に隠れている石等の物体の上を通過しないでください。シューターから飛び出たりオーガが詰まったりする原因になります。
- 砂利を敷き詰めたドライブウェイ、歩道または道路上での使用時または石の表面より高くなるように除雪機の高さを調節します。
- シューター角度を適切に調節することなく、人や動物、ガラスが入ったもの、自動車、窓などの近くで除雪機を使用しないでください。
- 除雪機を使用するエリアについて事前に把握します。歩道と道路の境界線には印をつけます。

## ⚠ 警 告



使用者が子供やペットの存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供は、装置が機器の動作にしばし引きつけられて近づくこともあるため、子供やペットが最後に見た場所にそのまま居ると思い込んではいけません。

- 使用中は子供やペットが近づかないようにします。子供は機械などに興味を持つことがよくあります。周辺のすべての人物や物に注意してください。
- 子供が除雪エリアに入った場合は、除雪機の操作を止めて電源を切ります。
- 子供に除雪機を運転させてはいけません。
- 視界を遮るエリアや見通しの悪い曲がり角、灌木、林などの場所に近づくときは特に注意を払う必要があります。子供などがいないか確認してください。

## ⚠ 警 告



燃料および気化ガスには高い可燃性および爆発性があります。燃料の取り扱いには十分注意してください。

これらの安全指示に従わない場合、家事や爆発を引き起こす可能性があり、深刻な火傷や死亡に繋がります。

### 燃料を追加する際

- エンジン进行切り、燃料キャップを外す前に少なくとも2分間エンジンを冷やしてください。
- 燃料タンクは屋外、または換気の良い場所で充填してください。
- 燃料タンクに過剰充填しないでください。ガソリンが膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上には充填してはいけません。
- 燃料はスパーク、直火、パイロットバーナー、熱などの引火の原因となるものから遠ざけてください。
- ヒビやキズ、漏れがないか始動前に燃料ライン、キャップ、及び除雪機全体の確認をしてください。必要に応じて交換をします。
- 承認された燃料容器のみを使用します。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ちください。
- 加圧スタート溶液はその気化ガスが可燃性のため、絶対に使用してはいけません。

### エンジンの始動時



- エンジンは起動すると火花が発生します。火花は近くのガスに引火する場合があるため、周辺で天然ガスまたはLP ガスが漏れている場合はエンジンを起動してはいけません。
- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、エアクリーナー（装備されている場合）が適所にあり、固定されていることを確認してください。
- スパークプラグを外した状態でエンジンを始動させないでください。
- 燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動しようとせずに除雪機をこぼれた場所から移動して、燃料の気化ガスが消散するまで点火源を作らないようにします。
- エンジン内にガソリンを入れすぎないようにします。取扱説明書のエンジン起動指示に従います。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、チョークを開く[🔧] 位置へツマミを回して、スタートロープハンドルをエンジンが始動するまで引いてください。

### 機器の操作時

- 除雪機を傾けてはいけません。燃料が漏れます。
- キャブレターを絞ってのエンジン停止は行わないでください。
- エアクリーナーアセンブリーやエアフィルター（装備されている場合）を外した状態でエンジンを起動しないでください。

### オイルを交換する時

- 上部のオイル充填チューブからオイルを排出する際には、燃料タンクは空でないと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

### 機器の輸送時

- 燃料タンクが空の状態または燃料シャットオフバルブがオフの状態で輸送してください。

### タンクに燃料が入ったままの器具を保管する場合

- 燃料の気化ガスに引火する可能性があるため、炉、ストーブ、給湯器、その他のパイロットランプ等の点火源付きの器具から離して保管してください。

## ⚠ 警 告



除雪機の安全な使用にはエンジンの適切な手入れおよび維持管理が必要です。

- すべてのクラッチおよびシフトをニュートラルにしてからエンジンを起動します。
- 除雪を始める前にエンジンが周囲温度に馴染むまで待ちます。
- 電動スタートの場合は、除雪機に接続する電源コードは3ワイヤプラグを使用します。  
※3ワイヤプラグとは…アース（接地）用の3つ目の端子（ピン）が付いた電源プラグのことです。この3つ目のピンは、感電防止や静電気の抑制、そして万が一の漏電時に電流を安全に地面へ逃がす役割を担います。

## ⚠ 警 告



動いているエンジンは発熱します。エンジン部品、特にマフラーは非常に熱くなります。これらの安全指示に従わない場合は、接触時に深刻な熱傷に繋がります。

- 熱いエンジンまたはマフラーに触れてはいけません。マフラー、エンジン・シリンダ、フィンは冷ましてから触れてください。
- マフラーエリアおよびシリンダーエリアから異物を取り除きます。
- 樹木、草、低木がある場所で使用する前に、火花防止装置を取り付けて正常に起動する状態を保ってください。

## ⚠ 警 告



安全な運転および性能を維持するために、この除雪機は適切に維持管理されなければなりません。本取扱説明書に記載された安全指示に従わない場合は、死亡または深刻な怪我に繋がります。

- 除雪機の維持管理または修理を行う場合、エンジンを止め、スパークプラグワイヤを外します。ワイヤをプラグから遠ざけて、誤ってエンジンが起動することを防止してください。
- 始動前に、除雪機 of 各パーツにヒビや破損した箇所がないか、また、すべてのパーツが正しく取り付けられているかを確認してください。
- 始動前に、すべてのナットおよびボルトが十分に締め付けてあるか確認してください。緩んでいる場合は、増し締めをしてください。
- 安全装置に手を加えないでください。定期的に適切な運転チェックをし、適切に機能しない場合は必要な修理を行ってください。
- 部品は、摩耗、損傷および劣化します。頻繁に部品の確認を行い、必要に応じて推奨パーツと交換してください。
- コントロールの動作を頻繁に点検してください。必要に応じて調整および整備を行います。
- 修理時は正規の交換部品、または同等部品のみを使用してください。
- すべての設定および調整について、必ず工場仕様に従ってください。
- 車輪おもり、釣合おもり、運転台等、工場認可または同等の付属品およびアクセサリーのみを使用します。
- エンジンを起動したまま、点検や調整をおこなってはいけません。
- 除雪機を改造してはいけません。



## 2. サービスと保証について

### 製品保証

本製品には、保証書が添付しています。詳細は、本書巻末の保証書をご覧ください。

### サービス（相談窓口）

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。

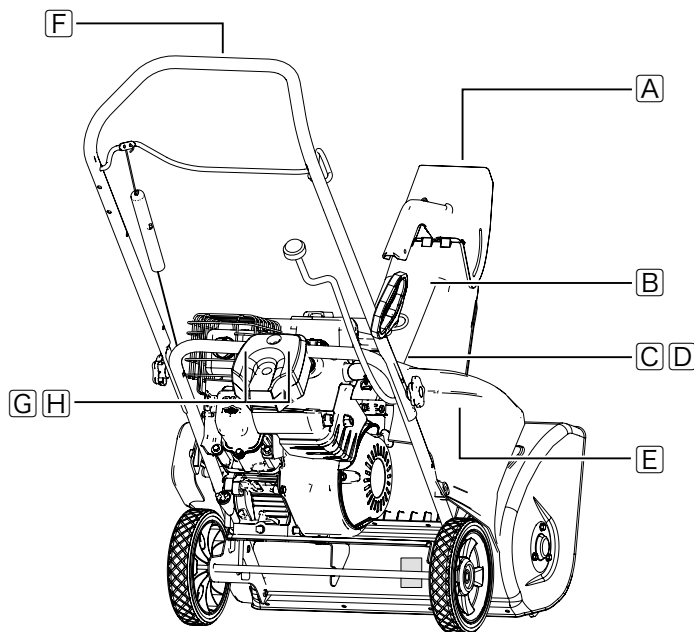
その際、本機の型式やご購入日などをご連絡ください。

## 3. 表示ラベルとその取扱い

### 表示ラベルの手入れと貼付位置

本機には安全についてのラベルが貼ってあります。良く読み理解した上で運転してください。

- ① ラベルが汚れている場合は石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- ② 汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し所定の位置に貼ってください。
- ③ ラベルが貼付されている部品を新品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。
- ④ 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全にふき取り、乾いた後元の位置に貼ってください。

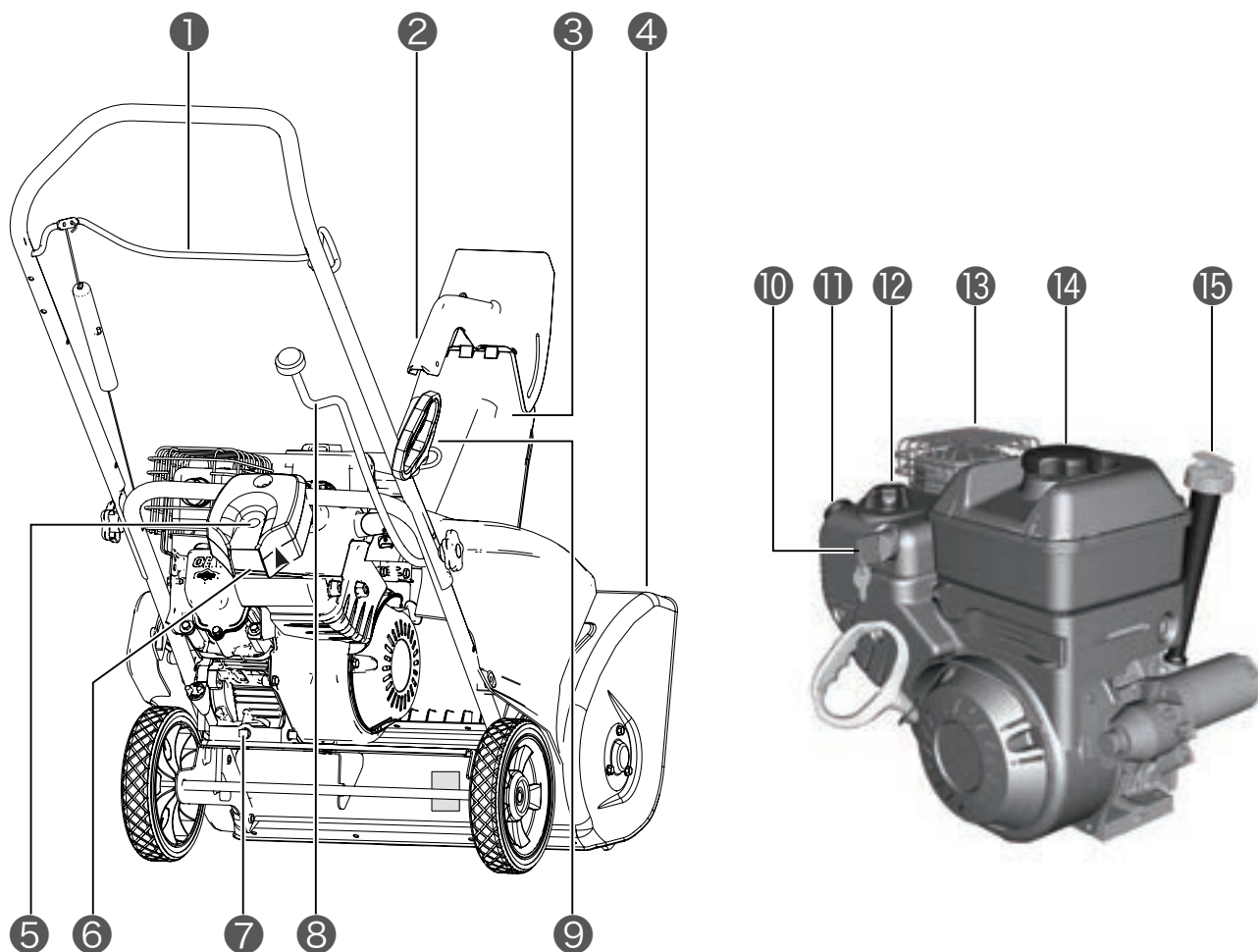


※機種によって貼り付け位置が異なる場合があります

### 表示ラベル



## 4. 各部の名称



- ①オーガクラッチレバー ②デフレクター・コントロールトリガー ③シューター ④オーガ（回転部）  
 ⑤スターターボタン ⑥電源コード接続端子 ⑦オイルドレーンプラグ ⑧シューター操作ハンドル  
 ⑨スターターコードハンドル ⑩エンジンスイッチ（キー） ⑪プライマーポンプ ⑫チョークレバー ⑬マフラー  
 ⑭燃料タンクおよびキャップ ⑮オイル注入口/ディップスティック

操作コントロールシンボルと意味

シンボル	意 味
	エンジンスイッチ オン/オフ
	チョーク入れる【レバー「閉」】
	チョーク戻す【レバー「開」】
	プライマーポンプを2回押す
	電源コードを接続（電動スタートの場合）
	スターターボタンを押す（電動スタートの場合）
	オーガクラッチレバー 運転/停止

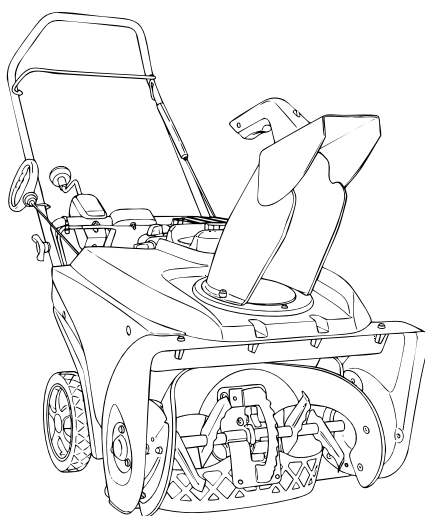
## 5. 梱包部品一覧

- ・ 梱包部品のすべてを慎重に箱から取り出してください。
- ・ すべての部品に不足や問題がないことを確認してください。
- ・ 梱包材を慎重に確認し、使用する前に廃棄はしないでください。

### ⚠ 警 告

本機を取り出す際は取付金具で手を怪我しないよう、作業手袋を着用して作業を行ってください。  
不足物がある場合は、不足している部品が入手されるまで使用はしないでください。

**A** 除雪機本体



**B** 取扱説明書(本書)



※販売店からの出荷で始動確認(組立)がされている場合、エンジンオイルは充填されています。

## 6. 運転前の点検・調整

除雪機をご使用するたびに運転前の点検を行ってください。

### ⚠ 警 告



運転前には、**燃料、エンジンオイル**の補充と点検を必ず行ってください。

エンジンオイルは、**オイル量が適量補充されないまま操作を行うとエンジンが焼き付きをおこして故障します**のでご注意ください。

エンジン焼き付きによる故障は保証対象外ですのでお気をつけください。

### ⚠ 危 険



- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

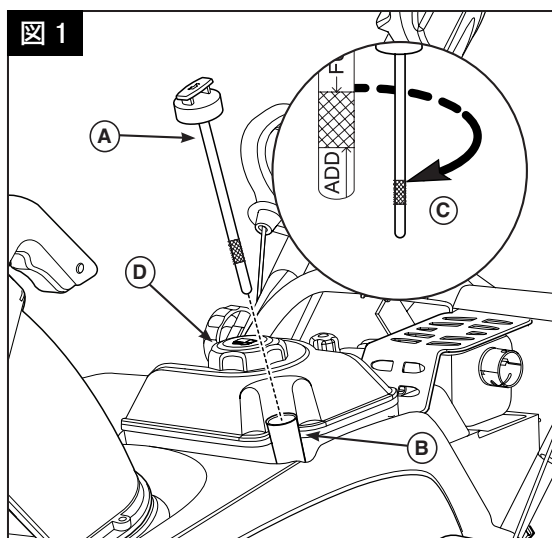
### ⚠ 注 意



- 燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- 燃料キャップは確実に締めてください。
- エンジンオイルが汚れている場合は、新しいエンジンオイルに入れ替えてください。

### 6-1 エンジンオイルの点検

1. 除雪機が水平であることを確認します。
2. ディップスティック付近のゴミがあれば清掃してください。
3. ディップスティック (A) を外して、きれいな布で拭き取ります。
4. エンジンオイル注入口 (B) にディップスティックを挿入し、時計回り方向に回して締め付けます。
5. 再びディップスティックを外し、オイルゲージでオイル量の点検をします。ディップスティックのオイルゲージ満タン上限位置 (C) まで、必要であればオイルを追加します。オイルの過剰充填に注意してください。
6. ディップスティックを注入口に挿入して時計回りに回して完全に締め付けます。

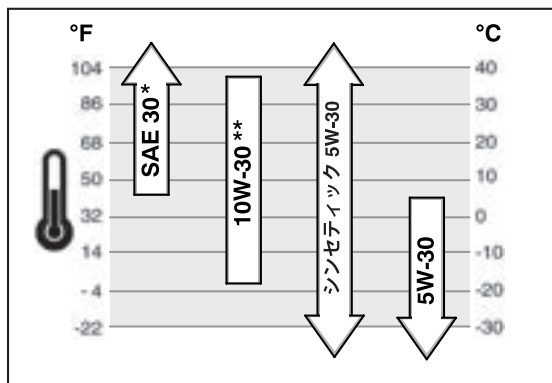


#### 推奨エンジンオイル

SG、SH、SJ 以上に分類された高品質なエンジンオイルを使用します。**5W30** 合成オイルを使用してください。オイルとガソリンを混ぜてはいけません。推奨オイルについては右図の表を参照ください。

\* 4℃未満でSAE30を使用すると、起動しにくくなります。

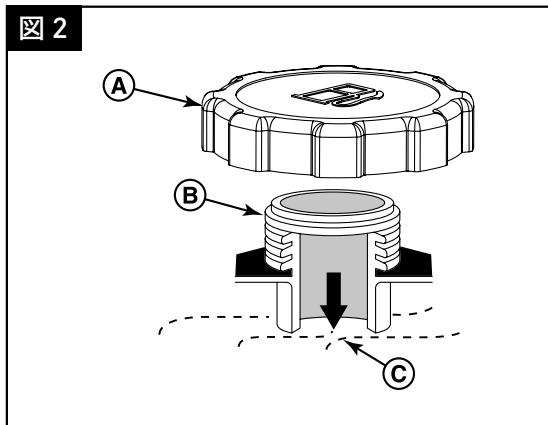
\*\*27℃以上で10W30を使用すると、オイル消費量が増加することがあります。オイル量を頻繁に確認してください。



## 6-2 燃料の点検

1. 除雪機が水平であることを確認します。
2. 燃料キャップ付近（図 1,D）の埃やゴミを清掃してください。
3. 燃料キャップ（図2,A）を外します。
4. 燃料タンク（図2,B）に燃料を注入します。燃料が膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分〔ネック〕の底（図2,C）より上に燃料を充填しないでください。
5. 燃料キャップを取り付けます。

図 2



## 6-3 除雪機の点検

1. 除雪機全体にへこみや損傷がないか、また燃料やオイル漏れなど異常がないかを確認してください。
2. シューターやオーガ内にゴミ詰まりや、機体に汚れがないか確認してください。汚れている場合は、水や中性洗剤で濡らしてしっかり絞った布で拭き取って清掃してください。  
※機体の洗浄には、高圧洗浄機を使用しないでください。

## 6-4 オーガクラッチのコントロールケーブル点検

### ⚠ 警告

- オーガクラッチレバーを離した後、オーガの回転は 5 秒以内に停止しなければなりません。停止しない場合は、コントロールケーブルの調整をします。
- ドライブベルトが破損している場合は、お買い上げの販売店へ連絡し、交換および調整依頼をしてください。

1. エンジンを始動します。（エンジン始動 14 ページ参照）
2. オーガクラッチレバーをハンドル側へ押し当てて、オーガの回転を点検します。  
オーガクラッチレバーをハンドル側へ押し当ててもオーガが回転しない、またはレバーを離しても 5 秒以内にオーガの回転が停止しない場合はコントロールケーブルの調整が必要です。  
※調整が必要な場合は、コントロールケーブルの調整方法 19 ページを参照してください。

## 6-5 各部の固定ボルト・ナット・ネジの締め付け点検

1. 除雪機の全てのボルト、ナット、ネジなどがゆるんでいないか点検します。
2. ボルトがゆるんでいた場合は増し締めをしてください。  
※点検用の六角レンチ工具、L 型六角レンチ工具は付属していません。工具をご用意ください。

## 7. 除雪機の使い方

- ・使用前に、必ずエンジンオイルと燃料の点検を行ってください。[運転前の点検・調整、11 ページ]
- ・使用前に、部品の破損やオイルの液漏れ、各部ボルトやナットのゆるみがないか点検し、ゆるみがあればしっかり締め付けてください。
- ・シューターやオーガの中にゴミ詰まりや汚れがないか点検してください。


### 7-1 エンジン始動と停止

#### ⚠ 警 告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。燃料の取り扱いには十分注意します。これらの安全指示に従わない場合、火事や爆発を引き起こす可能性があります。深刻なヤケドや死亡に繋がります。

#### エンジンの始動時

- ・エンジンは起動すると火花が発生します。火花は近くのガスに引火する場合があるため、周辺で天然ガスまたは LP ガスが漏れている場合はエンジンを起動してはいけません。
- ・スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、エアクリナー（装備されている場合）が適所にあり、固定されていることを確認してください。
- ・スパークプラグを外した状態でエンジンを始動させないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動しようとせずに除雪機をこぼれた場所から移動して、燃料の気化ガスが消散するまで点火源を作らないようにします。
- ・エンジン内にガソリンを入れすぎないようにします。取扱説明書のエンジン起動指示に従います。
- ・エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、チョークを開く[] 位置へツマミを回して、スタートロープハンドルをエンジンが始動するまで引いてください。



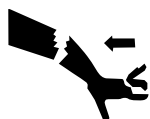
エンジンは一酸化炭素という無臭・無色の有毒ガスを排気します。一酸化炭素の吸引は、嘔吐や気絶、あるいは死をもたらす危険があります。

- ・エンジンの始動と運転は屋外で行ってください。扉および窓が開いていてもエンジンの起動を閉鎖された場所で行わないでください。



#### 電動スターター使用時



- ・電源コードは常に適切に接続する必要があります。電源コードが損傷していたり、接続不良であったりすると感電の危険性があります。感電は深刻なヤケドや死亡に繋がります。
- ・除雪機に接続する電源コードは3ワイヤプラグを使用します。  
※3ワイヤプラグとは…アース（接地）用の3つ目の端子（ピン）が付いた電源プラグのことです。この3つ目のピンは、感電防止や静電気の抑制、そして万が一の漏電時に電流を安全に地面へ逃がす役割を担います。



#### 手動スタート（スターターコードハンドル）使用時

- ・スタートコードの素早い引きを行うと、エンジンの逆回転による強い反発力（キックバック）がおこり、ハンドルを手放すよりも速くコードが巻き戻るため、手や腕をエンジン方向に引き寄せられます。骨折、打撲、またはねんざを引き起こす可能性があります。
- ・キックバックを回避するために、スタートコードのハンドルを握ったら、抵抗を感じるまでゆっくりと引っ張り、その後素早く引いてエンジンを始動します。

## エンジン始動


1. エンジンオイルの点検をします。  
[エンジンオイルの点検、11 ページ]
2. オーガクラッチレバーが解除されている（停止状態）であることを確認します。
3. エンジンスイッチ（A）にエンジンキーを挿し、オンの位置へ回します。[キーを時計回りに 90° ]
4. チョークレバー（B）を回して、レバーを『閉』の位置にします。[レバーを反時計回りへ  閉]

※エンジンが暖まった状態で始動する場合  
チョークレバーを『閉』位置にする必要はありません。  
『開』の位置で始動してください。

5. プライマーポンプ（C）を 2 回押します。

※エンジンが暖まった状態で始動する場合  
プライマーポンプを押さないで始動してください。

### 手動スタートの場合

6. スターターコードハンドル（D）をしっかりと握ります。  
抵抗を感じるまでスターターコードをゆっくりと引っ張り、そこから素早く引き戻します。
7. エンジンが暖まるまで暖機し、チョークレバー（B）を回して、レバーを『開』の位置にします。  
[レバーを時計回りへ  開]

### 電動スタートの場合


6. 電源コード（付属していません／E）を次の順番で接続します。
  - ①電源コード接続端子側のプラグ
  - ②壁のコンセント側の電源コードプラグ
 接続する電源コードは 3 ワイヤプラグを使用します。
7. スターターボタン（G）を押してエンジンを始動します。  
エンジン起動後は、電源コードを次の順番で取り外します。
  - ①壁のコンセント側の電源コードプラグ
  - ②電源コード接続端子側のプラグ
8. エンジンが暖まるまで暖機し、チョークレバー（B）を回して、レバーを『開』の位置にします。  
[レバーを時計回りへ  開]

図 3

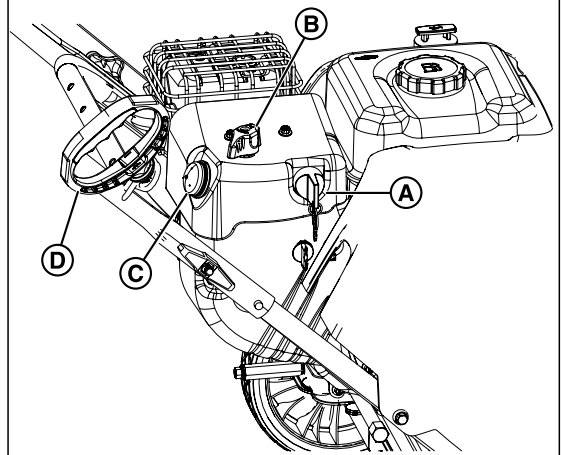
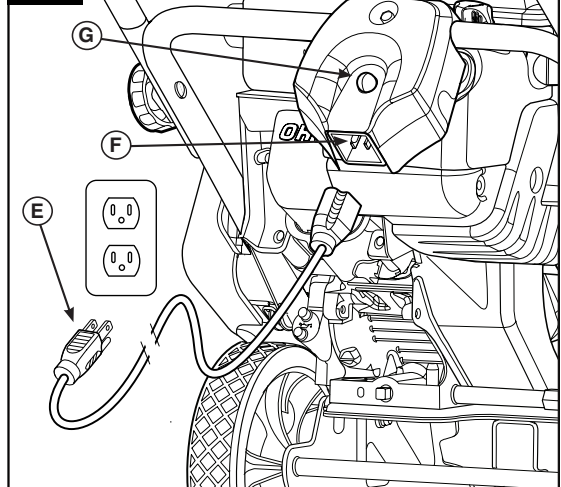


図 4



### 電動スタートの補足

- ・3 ワイヤプラグとは、アース（接地）用の 3 つ目の端子（ピン）が付いた電源プラグのことです。この 3 つ目のピンは、感電防止や静電気の抑制、そして万が一の漏電時に電流を安全に地面へ逃がす役割を担います。
- ・スターターボタンを（最大）5 秒間押し続けてもエンジンが始動しない場合は、電動スターターの負荷を減らすために、1 分間ほど待ってから、再度スターターボタンを押して始動します。
- ・エンジン始動を 3 回試みても起動しない場合は、トラブルシューティングを参照してください。

## エンジン停止

1. エンジンスイッチ（A）をオフの位置へ回します。  
※除雪終了の場合は 1 分間ほどエンジンを起動したまま暖機運転し、その後スイッチをオフ（切り）にします。
2. エンジンスイッチ（A）からエンジンキーを取り外します。  
※エンジンキーは子供の手の届かない安全な場所に保管ください。エンジンキーが無いとエンジンは起動しません。



## 7-2 除雪機の運転と操作

### ⚠ 危険



この除雪機は、手足を切断し、物を飛ばす場合があります。シューター内の回転オーガに触れることは除雪機に関連する怪我の最も一般的な原因です。

- 取扱説明書に記載されたすべての安全指示を読み、従うようにします。従わない場合は死亡または人身事故に繋がります。
- 手を使ってシューター（吐き出し口）から雪を取り除いたり詰まりを取ったりしてはなりません。指が挟まれて外傷性切断または重度の裂傷に繋がる場合があります。
- シューター（吐き出し口）から雪の詰まりを解消する場合は、必ず長い棒などの清掃ツールを使用します。手や足を直接入れてはいけません。



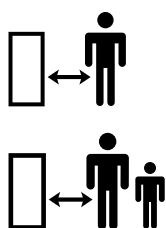
### ⚠ 警告



氷、砂利、または他の物体がオーガ（集雪装置）により持ち上げられてシューター（吐き出し口）から飛び出す場合があります。シューターから飛び出した物体は、死亡事故、深刻な怪我、または物損事故に繋がる可能性があります。

- 常に雪を飛ばす方向に気をつけます。
- 砂利または石の表面より高くなるようにオーガ（集雪装置）の高さ調節します。

### ⚠ 警告



使用者が子供やペットの存在を見落とした場合、深刻な事故が起こる場合があります。子供は、装置が機器の動作にしばし引きつけられて近づくこともあるため、子供やペットが最後に見た場所にそのまま居ると思い込んではいけません。

- 使用中は子供やペットが近づかないようにします。子供は機械などに興味を持つことがよくあります。周辺のすべての人物や物に注意してください。
- 子供が除雪エリアに入った場合は、除雪機の操作を止めて電源を切ります。
- 子供に除雪機を運転させてはいけません。
- 視界を遮るエリアや見通しの悪い曲がり角、灌木、林などの場所に近づくときは特に注意を払う必要があります。子供などがいないか確認してください。

## 除雪機の使用法

1. エンジンを起動して数分間暖機運転します。[13ページ]
2. シューター操作ハンドル (A) を回して、シューターを適切な方向へ向けます。排出する雪の除雪方向を調節します。
3. デフレクター・コントロールトリガー (B) を握って、デフレクターの角度（上下）を適切な位置に調整します。除雪の高さおよび距離を調節します。
4. オーガクラッチレバー (C) をハンドル (D) 側に押し当て、オーガを起動します。
5. ハンドルとオーガクラッチレバーを両手でしっかり握り、除雪機を歩いて押しながら除雪を開始します。  
※除雪機を進めるときは、決して走ってはいけません。
6. オーガクラッチレバー (C) を離すとオーガは停止します。
7. 除雪が完了後はオーガを停止し、エンジンは 1 分間起動したままにし、その後エンジンを停止します。[13ページ]

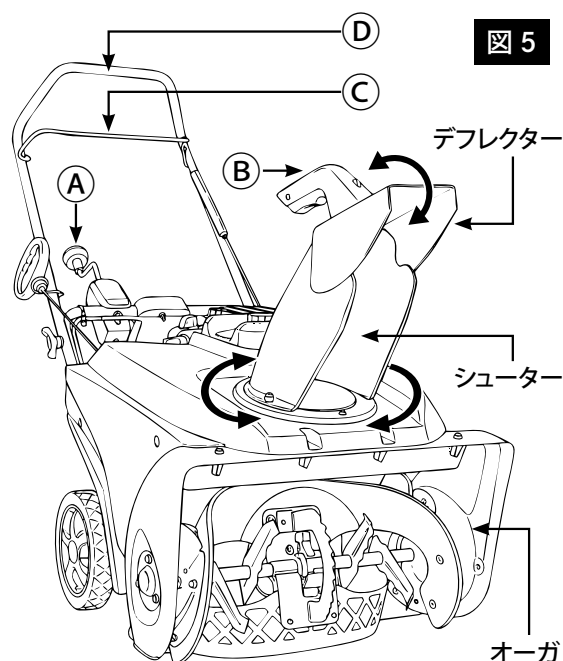


図 5



**補 足** …… 除雪機を進める場合、操作者はハンドルとクラッチレバーを一緒に左右からしっかりと握ります。前方のオーガ回転部が若干上がるようにハンドルを押し下げながら歩くとスムーズに車輪が進みます。

### 7-3 雪が詰まったシューターの掃除

#### ⚠ 危 険



シューターには雪を飛ばすための回転オーガがあります。シューターから雪詰まりを解消する場合は、決して手を使って詰まりを取り除いてはいけません。指が回転オーガに挟まる可能性があります。長い棒などの清掃ツールを常に使用して雪詰まりを解消してください。

- 取扱説明書に記載されたすべての安全指示を読み、従ってください。従わない場合は死亡または人身事故に繋がります。

### 雪詰まりの解消方法

1. エンジンを停止します。[13ページ]
2. オーガの回転が確実に停止していることを確認します。
3. 長い棒などの清掃ツールを使用して、シューター（吐き出し口）から雪を取り除きます。  
決して手を使ってシューターから雪をとりのぞいてはいけません。

### 使用後の積雪除去

- 除雪機の使用後は、制御装置、車輪、排出シュート、オーガの凍結を防ぐために積もった雪や泥を取り除いてから保管してください。

## 8. メンテナンス

除雪機を良好な状態に保つために定期的な調整を行ってください。

### ⚠ 危 険

- ・メンテナンス操作を進める前に、除雪機のエンジンを切り、オーガ回転部が確実に停止していることを確認してください。
- ・メンテナンスを行うときは、必ず除雪機は水平で安定した場所に置いてください。
- ・運転完了直後は除雪機や各部品が高温となっている可能性があります。完全に冷却するのを待ってからメンテナンスを行ってください。

### ⚠ 警 告

- ・作業手袋、安全な靴、保護メガネなどの保護具を着用してメンテナンス作業を行ってください。

### ⚠ 注 意

- ・メンテナンス部品は純正スペアパーツまたは推奨の同等品質の部品を使用してください。

### 8-1 メンテナンスのスケジュール

対象部品	点検項目	運転前点検	使用後点検	25 時間運転 もしくは 1 年に 1 度	50 時間運転 もしくは 1 年に 1 度	掲載ページ
固定ボルト・ナット	点検・締め付け	●				P.12
エンジンオイル	オイル量の点検	●				P.11
	オイル交換				● ※ 1	P.18
除雪機の機体全体	各部の傷や損傷点検	●	●			P.12
	堆積した雪の除去		●			P.16
オーガクラッチの コントロールケーブル	クラッチレバーの点検	●				P.12
	ケーブルの調節			●		P.19
スクレーパーバー・ ゴムオーガ	摩耗点検	●				P.20
マフラーおよび マフラーガード	状態点検				●	P.19
スパークプラグ	点検または交換			●		P.20

※ 1…エンジンオイルは最初の 5 時間運転後に交換します。その後は、50 時間運転もしくは 1 年に 1 度交換をします。

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。その際、本機の型式やご購入日などをご連絡ください。疑問がある場合は、作動させたりせず、下記へお問い合わせください。

サービス (相談窓口) プラウカスタマーサポート



025-530-6025

## 8-2 エンジンオイルの交換

### ⚠ 注 意

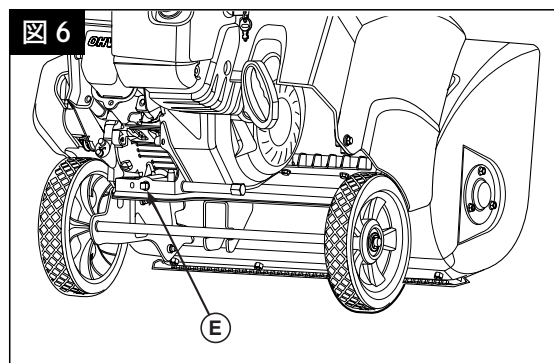
- 使用済みのオイルは有害廃棄物であり、適切に廃棄する必要があります。家庭用ごみと一緒に廃棄しないでください。廃棄方法は、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。

### エンジンオイルの抜き取り

1. 除雪機を水平で安定した場所に停止させ、電源を切って、エンジンキーを抜きます。
2. オイルドレーンプラグ（E）を取り外し、除雪機を少し傾けて廃油受け容器内にオイルを流して抜き取ります。
3. エンジンオイルを流し出した後は、新しいオイルドレーンワッシャーを使用して、オイルドレーンプラグを再度差し込み、しっかりと締め付けます。

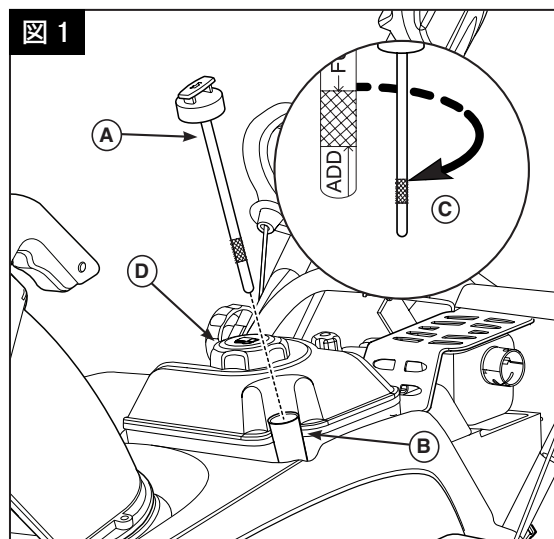
**補 足** …… オイルドレーンプラグのワッシャーは、プラグを取り外す度に新しいものに交換してください。一度使用したワッシャーは変形しやすく、再度使用するとオイルが漏れ出す可能性があります。

**補 足** …… エンジンオイルは、エンジンが温まっているうちに交換をしてください。



### エンジンオイルの注入

1. 除雪機が水平であることを確認します。
2. ディップスティック付近のゴミがあれば清掃してください。
3. ディップスティック（A）を外して、きれいな布で拭いてください。
4. エンジンオイル注入口（B）にオイルをゆっくり注入します。
5. 1 分間待ち、ディップスティックを挿入して時計方向に回して締め付けます。
6. 再びディップスティックを外して、オイルゲージ（C）でオイル量の点検をします。
7. オイルゲージ（C）の上限までオイルを追加します。オイルの過剰充填に注意してください。
8. ディップスティックを注入口に挿入して時計回りに回して完全に締め付けます。



### 推奨エンジンオイル

SG、SH、SJ 以上に分類された高品質なエンジンオイルを使用します。5W30 合成オイルを使用してください。オイルとガソリンを混ぜてはいけません。推奨オイルについては 11 ページの表を参照ください。

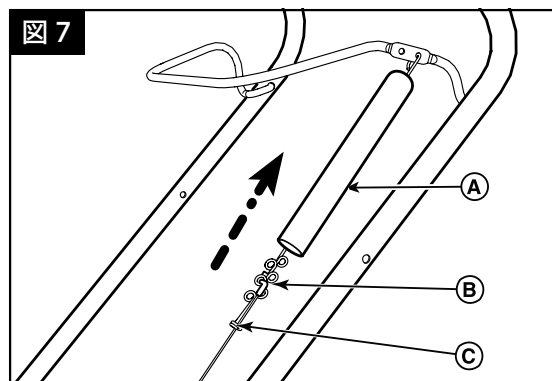
## 8-3 オーガクラッチのコントロールケーブル調節

### ⚠ 警 告

- ・オーガクラッチレバーを離した後、オーガの回転は 5 秒以内に停止しなければなりません。停止しない場合は、コントロールケーブルの調整をします。以下の調節方法を参照して調整してください。もしくは、お買い上げの販売店へメンテナンスの依頼をしてください。
- ・ドライブベルトが破損している場合は、お買い上げの販売店へ連絡し、交換および調整をしてください。

### コントロールケーブルの調整方法

1. 除雪機を停止させ、電源を切って、エンジンキーを抜きます。
2. ケーブルカバー (A) を持ち上げて調整ループ (B) およびケーブル先端金具 (C) を出します。
3. 調整ループから先端金具を取り外して次の手順で再度取り付けます。



症 状 1	・オーガクラッチレバーをハンドル側へ押し当て、その後離しても <u>オーガが回転し続ける、または 5 秒以内に止まらない。</u> (ベルトの張力が強い)
調整方法	先端金具(C)を次の調整ループ(B)まで下げた位置に取り付ける。 コントロールケーブルを長くします。(ベルトの張力を減らす)
症 状 2	・オーガクラッチレバーをハンドル側へ押し当てても <u>オーガが回転しない</u> (ベルトの張力が弱い/ケーブルに若干のたるみがある)
調整方法	先端金具(C)を次の調整ループ(B)まで上げた位置に取り付ける。 コントロールケーブルを短くします。(ベルトの張力を増やす)

4. ケーブルカバー (A) を下げます。
5. 上記の調整手順を繰り返し行って調節します。以下の通りになれば正常です。
  - ・レバーをハンドル側へ押し当てるとオーガは回転
  - ・レバーを離すと 5 秒以内にオーガの回転が停止※調整を繰り返し行ってもオーガの回転が改善しない場合は、お買い上げの販売店またはブラウカスタマーサポートへご相談ください。

## 8-4 マフラーやマフラーカバーの点検

### ⚠ 警 告

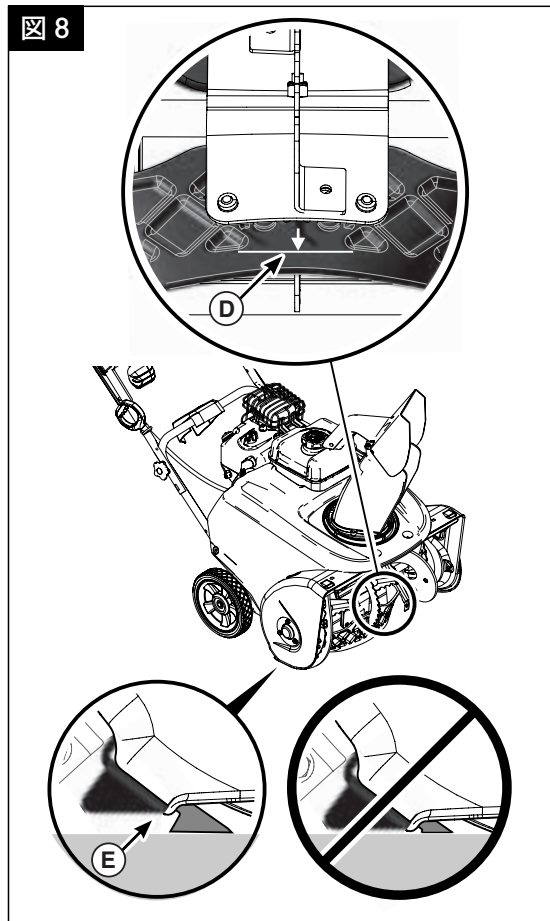
- ・エンジン停止直後は、マフラーやマフラーカバー、配管、エンジン本体およびエンジンオイルが高温になっており、手や肌が触れるとヤケドの危険があります。マフラーやマフラーカバーの点検は安全な温度に下がった状態で行ってください。

- ・マフラーやマフラーカバーにキズや変形などの損傷がないか点検してください。点検時期以外でも損傷が見つかった場合は使用し続けずに、お買い上げの販売店またはブラウカスタマーサポートへ修理を依頼してください。

## 8-5 オーガおよびスクレーパーバーの点検

1. ゴムオーガの摩耗を点検します。  
ゴムオーガが摩耗限界位置（D）に達した場合は、両方のゴムパドルを交換してください。
2. スクレーパーバーホルダーと地面の隙間（E）を点検します。  
スクレーパーバーホルダーが地面が接触する場合は、スクレーパーバーを交換してください。

※交換が必要な場合は、お買い上げの販売店または  
ブラウカスターサポートへご依頼ください。



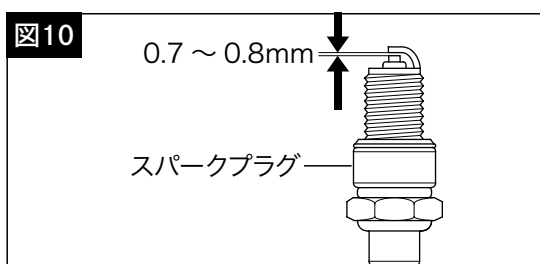
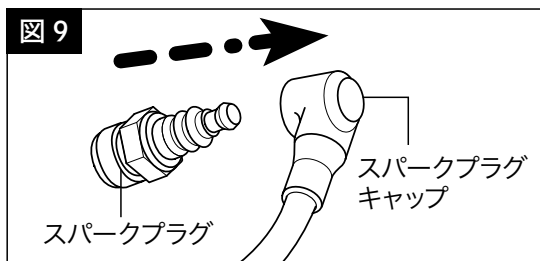
## 8-6 スパークプラグの点検

### ⚠ 注 意

- ・スパークプラグキャップは、スパークプラグにしっかりとめてください。はめ込みが足りないと点火しません。
- ・エンジン停止直後は、マフラーやマフラーカバー、配管、エンジン本体およびエンジンオイルが高温になっており、手や肌が触れるとヤケドの危険があります。プラグの点検・交換は安全な温度に下がった状態で行ってください。
- ・メンテナンス部品は純正スペアパーツまたは推奨の同等品質の部品を使用してください。

- ・エンジンの点火が正常に始動しない場合、もしくは使用25時間毎にプラグの清掃を行ってください。プラグの汚れがひどい場合は新しいものと交換してください。

1. エンジン後方にあるプラグキャップを強く引くと、スパークプラグがあります。スパークプラグをプラグレンチ等で取り外してください。
2. スパークプラグの先端の汚れを取り除き、紙ヤスリやワイヤーブラシ等で清掃します。スパークプラグのスキマ調整は間隔を 0.7 ～ 0.8mm 前後にするようにします。



スキマ調整値	0.7 ～ 0.8mm
締め付けトルク	20 N・m
清掃時期	25 時間毎もしくは 1 年に 1 度

## 9. 保管方法

除雪機を良好な状態に保つために正しく保管をしてください。

### ⚠ 警 告

- ・保管時は、必ず除雪機を平らな地面に停止させてください。
- ・保管時は、必ずエンジンスイッチをオフにして、エンジンキーを抜いてください。
- ・火気や高熱にさらされる場所には除雪機を保管しないでください。

### 日常的な保管

冬季の短期間の保管の場合は、下記の作業を行ってください。

- ・ **清掃**: 除雪機はきれいに清掃してください。汚れている場合は、水または中性洗剤を少量入れた水を含ませ、しっかりと絞った布で拭き取ってください。高圧洗浄機では絶対に洗わないでください。故障します。
- ・ **場所**: 積雪の中に埋もれない場所、また安定した平らな場所に保管してください。
- ・ **機体の点検**: 除雪機にキズや凹み、損傷がないか点検してから保管してください。

### 長期の保管

1 ヶ月以上使用しない場合は、保管をする前に下記の作業を行ってください。

- ・ **清掃**: 除雪機はきれいに清掃してください。汚れている場合は、水または中性洗剤を少量入れた水を含ませ、しっかりと絞った布で拭き取ってください。高圧洗浄機では絶対に洗わないでください。故障します。
- ・ **点検**: 各部のボルトやナットにゆるみがないか点検し、ゆるみがあればしっかりと締めてください。
- ・ **燃料の抜き取り**: 30 日以上保管すると燃料が劣化する恐れがあります。劣化した燃料は故障の原因となるため、必ず燃料を抜いてから保管してください。
- ・ **潤滑油の塗布**: 除雪機の手軸などの可動部に潤滑油を塗布します。
- ・ **さび止めの塗布**: 除雪機の刃およびオーガの地金部分にさび止め塗料を塗布します。
- ・ **修理**: 不具合の箇所がある場合は、修理や整備をしてください。
- ・ **環境温度**: 温度が極端に高温や低温になる場所では保管しないでください。
- ・ **場所**: 屋根があり、雨や雪の当たらない場所、また安定した平らな場所に保管します。カバーなどをかけて保管してください。屋外で保管する場合は、厚手の防水シートなどをかけて保管してください。

### ⚠ 重 要

燃料の無鉛ガソリンは長期間保管すると劣化する恐れがあります。劣化した燃料は、燃料システムやキャブレター部品に重大な損傷をあたえます。エンジンの故障原因になりますので、長期保管の前に必ず燃料を抜き取ってください。長期保管後に使用する場合は、新鮮な燃料を入れてください。

## 10. 故障と思ったら（トラブルシューティング）

症状	主な原因
オーガクラッチレバーを離してもオーガの回転が停止しない	オーガクラッチのコントロールケーブルの調節が必要
オーガクラッチレバーを握ってもオーガが回転しない	オーガクラッチのコントロールケーブルの調節が必要
シューター（排出口）の方向や角度を調節できない	シューターの留め具が締め付けられている、またはシューター操作ハンドルやデフレクター・コントロールトリガーが損傷している
	シューターまたはデフレクターが凍結している
エンジンが始動しない	エンジンスイッチがオフの位置にある、またはキーが差し込まれていない
	プライマーポンプを 2 回押されていない
	燃料がきれている
	チョークが開いている（エンジンが冷えている）
	エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない
	スパークプラグが汚れている、摩耗している、または隙間が不適切
	燃料が古い または 燃料タンク内に水が入っている
	（電動スタートの場合）電源コードが差し込まれていない または 電源コードが損傷している。
エンジン始動が困難または動きが悪い	エンジンオイルが不適切
	スパークプラグが汚れている、摩耗している、または隙間が不適切
	チョークレバーの設定位置が不適切
過度の振動	部品やパーツの固定が緩んでいる、または破損している
除雪跡がきれいではない	スクレーパーバーが摩耗している
除雪機は雪を排出しない	オーガクラッチのコントロールケーブルの調節が必要
	ドライブベルトが摩耗または破損している
	シューター（排出口）に雪が詰まっている
除雪機が自走しない	ゴムオーガが摩耗または破損している。

その他の問題については、お買い上げの販売店、またはブラウカスタマーサービスへお問い合わせください。

## 11. 保証内容について

---

### 保証期間

保証期間は、商品のお届け日から 1 年間です。

ただし、業務使用（レンタル・リース用、専門業者を含む業務上の使用）や営業目的でご使用の場合は 6 ヶ月間となります。

### 保証の適用

取扱説明書に記載された通常の使用範囲において、万が一、製品の材料または製造工程に起因する不具合が生じた場合、本保証規定に基づき無償で修理または部品の交換対応をいたします。

なお、保証対応時の製品の往復送料は、お客様にご負担いただく場合がございます。

### 保証適用外の事項

- 消耗部品の交換
- 取扱説明書の指示に反した使用、不当な修理や改造による故障・損傷。
- 落下、衝撃、または天災（火災、地震、水害など）による故障・損傷。
- 経年劣化（紫外線や使用による外装劣化、塗装の色あせ、傷、サビなど）。

※詳細な保証規定については、販売店のウェブサイト等でご確認ください。



## 12. 主要諸元

型 式		S B P 7 5 5
除 雪 機	ステージ数	シングルステージ (1 段)
	除雪幅	約 55 cm
	始動方式	手動スタートおよび電動スタート
	シューター回転操作	手動 (ハンドル操作)
	デフレクター操作	手動 (トリガー押下)
	自走式	なし
	オーガ操作方法	クロスハンドルバー方式
	オーガ回転数	1250 ± 100 RPM
	除雪高さ	約 31 cm
	ヘッドライト	なし
エ ン ジ ン	エンジン排気量	223 cc (14J1-60102427-F1)
	エンジンタイプ	4 サイクル
	スタートシステム	リコイルスタートおよび電動スタート
	オイル容量	0.59 リットル
	燃料タンク容量	3.0 リットル
	スパークプラグの隙間	0.7 mm ~ 0.8 mm
	スパークプラグのトルク	20 N・m



パーツリストについては、ブラウホームページでのご案内となります。

---

左の QR コードまたは下記 URL からアクセスしてください。

「部品図・パーツリスト」 ページ URL

**[bit.ly/plowparts](https://bit.ly/plowparts)**

野外仕事を  
もっと楽しく

